

1 題材 わたしたちの消費生活と環境について考えよう

2 目標

- (1) 自分や家族の消費生活と環境に関心をもち、進んで生活をよりよいものにしようとする。（関心・意欲・態度）
- (2) 消費生活と環境について見直し、よりよい消費生活を工夫し創造することができる。（生活を工夫し創造する能力）
- (3) 生活に必要な物資やサービスの事例について情報を収集・整理し適切な選択、購入及び活用ができる。（生活の技能）
- (4) 販売方法の特徴や、消費者の基本的な権利と責任、生活と環境の関係についての基礎的な知識を身に付ける。（知識・理解）

3 指導にあたって

(1) 題材について

本題材では、学習指導要領の内容B(4)「家庭生活と消費」について、実践的・体験的な学習を通して、家庭生活における消費の重要性に気付かせる。そして販売方法の特徴や消費者の権利と責任に関する学習を通して、物資やサービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにするとともに、環境に配慮した生活の実践にもつなげることを学ぶ。

各発達段階における消費生活の学習の目標を解説から比較すると小学校では「消費者として必要な基礎的・基本的な態度の育成」、中学校では「自分や家族の生活や消費者の在り方を考える消費者としての自覚の育成」、さらに高等学校においては「より具体的な自立した消費者の姿や実践的な態度の育成」が求められている。中学校で求められている消費者としての自覚については、中学生や家族の生活に根ざした活動が必要であり、生徒が生活の中で必要や欲求に対してどのように意志決定していくかが重要であると考ええる。

一般的に家庭生活を営む上で、日常生活に必要な物資は商品として購入するものがほとんどである。しかし、中学生は成人と比べ社会と直接かかわる場面が少ないため、自分が消費生活に直接かかわっているという自覚をもてないことが多い。社会の一員として、また将来社会の形成者として自立した生活を送るためには、消費者としての自覚を中学生の時期から育む必要がある。また安心・安全な生活を営んでいく持続可能な社会の実現を目指し、消費生活が環境に与える影響について考え、循環型社会を形成する基盤となる生活を工夫させていく。

(2) 学級の実態（平成20年10月6日 調査実施 男子14人 女子17人 計31人）

項 目	結 果（ 単位のない数字は人数 ）
お小遣いで買う物は何か。	本20 CD・ビデオ20 食料品19 映画17 文房具15 洋服11
普段買い物をする場所はどこか。	デパート20 コンビニエンスストア19 スーパーマーケット13 自販機9 通販・インターネット5
買い物をするとき気をつけていることは何か。	値段28 品質15 使いやすさ12 流行10 デザイン2 環境への影響2
買い物で失敗したことがあるか。	はい28 いいえ3
失敗例はどのようなことか。	もっと安い店があった19 予想と違った14 買ったがあまり使わない9 同じ物がすでにあった5 すぐ壊れた5 まずかった5 サイズが合わない4
欲しい物があるとき何を手がかりに選ぶか。	実際の商品18 TV広告14 家族や友人13 新聞雑誌11 インターネット10
次のマークの意味を選びなさい。	エコマーク(正解25) ジスマーク(正解11) ジャドママーク(正解7)
3Rについて意味を書きなさい。	リサイクル(正解24) リユース(正解9) リデュース(正解3)

学区及び近隣にはスーパーマーケット、コンビニエンスストア、商店街等の販売店が点在し、生徒は気軽に日常的な買い物を行っている。また、通信販売やネットショッピングの経験のある生徒も見られる。中学生なのでそれほど高額な金銭を自由にするとはなく、むしろいかに安い商品を求めるかに意識を向けている傾向が見られる。そして、かなりの生徒が買い物で失敗したことがあると答えている。安直に買い物をしている実態に対して、商品選択の根拠や意味、環境に及ぼす影響等についても考慮し、消費者として適切な選択ができる判断力としての意志決定能力を身に付けさせ、消費者としての自覚を育む必要があると考える。

(3) 指導観

本題材の指導にあたっては、消費者としての自覚をはぐくむために、特に意志決定能力の育成を重視したい。前述のように、生徒はあまり生活との関係を考えずに商品を購入している。そこで、学習の中に実際の生活場面を想定し、問題を見出して解決のために情報を収集し、習得した知識や技術から自分の意志を決定し、選択したり行動したりできるようにする。問題解決的な学習の過程に、決断し行動に結びつく場面を取り入れ、実践的・体験的な学習によって主体

的な学習への取り組みを促す。商品選びには実物を観察し、販売店や家族から聞き取り調査を行い、書籍やインターネット等で調べて情報を収集させるとともに、友人と考えを共有して意志決定につなげる。また販売方法や消費者トラブルについては、ロールプレイングや消費生活センターの協力を得た学習を通して、実際に自分で直面したらどのように感じ、意志決定していくかをシミュレーションさせていく。生活と環境について考える学習では、刻々と変化する環境問題の実際と自分の生活の関係について、3Rチェック、省エネルギー、エコバック運動などの中から自分にできることを実践していく。これらの学習を通して、仲間との学び合いや他者とのコミュニケーションを図る学びを展開できるように、学びの場の設定やチーム・ティーチングによる支援の充実等を図りたい。

4 指導計画（10時間扱い）○本時

次	時	指導項目	学習内容・活動	評価規準
1	1 2	・学習の見通しをもとう。 ・商品調査を試みよう。	・消費生活の学習の概要を確認する。 ・欲しい物があつたらどうするか考える。 ・商品について様々な方法で調査する。	・自分の消費生活について関心をもつ。 (関心・意欲・態度)
2	③ 4 5 6 7 8	・消費者としての自覚をもとう。	・商品を選ぶ条件は何か考える。 ・様々な観点から実際の商品選びをする。 ・いろいろな販売方法について知り、利用法を考える。 ・消費トラブルの実態と対処法について知り実践化を図る。	・商品を選ぶ条件を理解する。(知識・理解) ・観点に応じた商品選びができる。 (生活の技能) ・商品や場面に応じて販売方法や支払い方法を選択する。 (生活の技能) ・通信販売を利用するときの注意点、悪質商法などのトラブルの例と対処法を理解する。 (知識・理解) ・消費者の権利と責任について理解する。 (知識・理解)
3	9 10	・生活の中で環境への影響を考えよう。	・自分の生活の環境への影響について考える。 ・環境を考えた生活について工夫し、行動できるようにする。	・自分の生活を振り返り環境に与える影響に配慮した行動を工夫する。 (生活を工夫し創造する能力)

5 本時の学習

(1) 目標

商品を選ぶ条件は何かを考え、実際に商品を選択することができるようにする。(知識・理解) (生活の技能)

(2) キャリア教育の視点

生徒がかかわり合う学習を深めていくためには学習への動機付けが必要である。そのためには、多くの生徒が興味をもったり共感したりできるような学習材の開発が肝要であると考え。特に、教室において消費生活の学習に取り組むには生徒それぞれの消費生活をもとにしながらも、学級の生徒が共に学び合い、共感したり、意見交換したりすることのできる共通の学習材が必要であると考え、生徒に好まれる「ハンバーグ」を取り上げる。

まず、各グループによる担当のハンバーグを提示して長所・短所及び購入のポイントを紹介する。〈意志決定能力〉それに対して各自の立場を設定して自分の立場によって選択しやすい商品かどうかを吟味できるようにする。ハンバーグという食に関する共通の題材を扱うので栄養士の立場からT2としての支援を得る。〈情報活用能力〉

次に、同じ立場の生徒毎に集まり、選びたい商品について話し合い商品選択についてまとめるが多くの生徒の意見を反映できるようポストイトトークによって意見を集約していく。さらに目的によってグループを変え、班のメンバーとコミュニケーションを図りながら自分や友人の考えを確認し、互いのよさを見出していけるようにする。

〈人間関係形成能力〉〈情報活用能力〉

(3) 準備

- ・生徒 学習シート ハンバーグについての調査用紙 参考資料
- ・教師 短冊カード 付箋紙 参考図書 PC プロジェクター スクリーン

(4) 展 開

配時	学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 ・ 援 助 の 視 点 と 評 価 (◎は研究内容との関連) ☆キャリアの視点に関する評価																		
5分	1 「買い物での失敗」について生活経験を想起し、本時の学習課題を把握する。 学習課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ハンバーグが食べたいな。 ハンバーグ選びを通して商品選択について学び、条件にあった選択ができるようにしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活アンケートの結果を紹介し、生徒の買い物の特徴や買い物での失敗について関心を持ち、学習の動機付けとするとともに、消費生活の学習の見通しをもてるようにする。 生徒の生活に身近で比較しやすい商品の一例としてハンバーグを取り上げ選択についての視点を定めやすくする。 																		
10分	2 各班の発表を聞いて各商品の特徴、長所・短所を知る。 <table border="1" style="border-style: dashed; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">商品例</th> <th style="width: 50%;">発表内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・手作りハンバーグ</td> <td>・商品名</td> </tr> <tr> <td>・レトルト食品</td> <td>・内容量</td> </tr> <tr> <td>・冷凍食品</td> <td>・原材料</td> </tr> <tr> <td>・焼き上がったパテ</td> <td>・価格</td> </tr> <tr> <td>・ファストフード店</td> <td>・購入店</td> </tr> <tr> <td>・コンビニエンスストア</td> <td>・長所、短所</td> </tr> <tr> <td>・出前</td> <td>・情報源</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・その他</td> </tr> </tbody> </table>	商品例	発表内容	・手作りハンバーグ	・商品名	・レトルト食品	・内容量	・冷凍食品	・原材料	・焼き上がったパテ	・価格	・ファストフード店	・購入店	・コンビニエンスストア	・長所、短所	・出前	・情報源	・その他	・その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎各商品の調査を班ごとに行い、友人に商品の特徴を分かりやすく紹介するようにする。(意志決定能力) ◎班の発表を聞く立場を設定することで自分の立場によって選択しやすい商品かどうかを吟味できるようにする。(情報活用能力) <p>立場 A：時間に余裕のないとき B：時間のあるとき C：お金に余裕のないとき D：お金のあるとき E：こだわりのあるとき</p>
商品例	発表内容																			
・手作りハンバーグ	・商品名																			
・レトルト食品	・内容量																			
・冷凍食品	・原材料																			
・焼き上がったパテ	・価格																			
・ファストフード店	・購入店																			
・コンビニエンスストア	・長所、短所																			
・出前	・情報源																			
・その他	・その他																			
20分	3 同じ立場の生徒ごとに集まり、選びたい商品について話し合い商品選択についてまとめる。 ①それぞれの立場からなぜその商品を選びたいのかを明らかにしていく。 ②付箋に選んだ観点と留意点を記入し商品カードに添付する。 観点例 <div style="border: 1px solid dashed; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・品質 ・嗜好 ・価格 ・利便性 ・環境への配慮 ・サービス </div> ③付箋の情報を整理し商品選択の条件について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎短時間のバズセッションで話し合いを活性化。ハンバーグ選択を軸にした生徒間のコミュニケーションを図るようにする。(人間関係形成能力) ・T2は各班の話し合いを見守り食生活を向上させるためのアドバイスを与える。 ・友人と相談しながらも、自分の意志や実生活の経験を生かして選べるよう助言する。 ◎ポストイトトークによって、自由に話し合いを進めるとともに観点による選択の特徴が分かりやすいように整理する。(情報活用能力) <p>☆話し合いやまとめる活動に積極的に取り組み自分の考えを伝えたり友人の意見を受け入れたりしている。 【観察・自己評価カード】</p>																		
10分	4 商品の情報収集について考える。 ・商品選択の根拠となった情報の種類と得方について話し合う。 情報例 <div style="border: 1px solid dashed; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・実物(商品表示、マーク、商店の展示) ・新聞、雑誌、TV、インターネット、携帯電話 ・パンフレット、カタログ ・販売員、家族や友人の話 ・その他 </div>	<p>評 価 (Cは指導の手立て)</p> <div style="border: 1px solid dashed; padding: 5px;"> <p>A：商品を選ぶ条件について多くの情報の中から適切な商品選択ができるよう具体的に考え、商品選択に役立るとともに理解した内容を記述している。</p> <p>B：商品を選ぶ条件は何かを考え、実際に商品を選択するために役立てることができる。</p> <p>C：立場に応じた商品選択について友人の意見を聞いたり、教師の助言によってふさわしい物を選択できるようにする。 【観察・学習シート】</p> </div>																		
5分	5 本時の学習の自己評価をし、今後の学習内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ◎友人の発表を聞いて、友人の気付きや多様な考えを情報交換し、互いのよさを知ることが出来るよう助言する。 																		

学習課題 ハンバーグが食べたいな。

ハンバーグ選びを通して商品選択について学び、条件にあった選択ができるようにしよう。

1 各班の発表を聞いて特徴、長所・短所を知ろう。

わたしの立場は

【 】

【A:時間に余裕がない B:時間がある C:お金を節約したい D:お金に余裕がある E:〇〇にこだわりがある】

商品名	内容量	価格 (1人分)	調理 時間	特 徴	長 所	短 所
①マルシンハンバーグ (チルドハンバーグ)	85 g	75 円	8 分			
②今晚のハンバーグ (チルドハンバーグ, レトルト食品)	120 g	210 円	2 分			
③手作りハンバーグ (家庭での手作り)	90g	150 円	25 分			
④お弁当ハンバーグ (冷凍食品)	60 g	107 円	3 分			
⑤ハンバーガー (ファストフード)	100 g	100 円	20 秒			
⑥備長炭ハンバーグ (そうざい)	90 g	132 円	2 分			

2 (1)同じ立場のメンバーと、どの商品を選ぶか話し合ってみよう。そして自分で選びたい商品を決めよう。

(2)わたしは○の商品を選びます。なぜなら

だからです。

(3) (2)の理由をポストイットに書き、黒板に貼ろう。(1人1枚)

(4) 黒板のポストイットを同じ考え毎にまとめてみんなの選択基準について整理しよう。

(5) ところで次の場合にはどの商品①～⑥を選びますか？さらに工夫できることはありますか。

a 家族で幼稚園の子どもの誕生祝いをする。

○

b 日曜日、母が不在なのであなたが父と弟の昼を準備する。

○

c 祖父母にも喜んでもらえるハンバーグ料理を作りたい。

○

3 情報源にはどのようなものがあるだろう。

4 評価しよう。

(1) 商品を選ぶ条件について理解できましたか。

A B C

(2) 学んだことを生活に生かせそうですか。

A B C

(3) 友人や自分の再発見！ よい考えや意見 (

さん

)

発表や話し合い (

さん

)